

しゃっちょうは行く!

Broaden your horizons④1 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。私は、シルク・ドゥ・ソレイユ：ZEDとKOOZAを観に行きました。これって、サーカス? こんなのが出てきたら、木下大サーカスはどうなるのかしら? と勝手な心配をしながら、会場の工夫、エンターテイメントの凄さに感心し、とても刺激になりました。

その中で、私が気に入ったのはトランポリンです。トランポリンをメディセレスクールの共有スペースにおいてみたら……「確認テスト、平均点以上取った人は、トランポリン許可!」とかしたら、みんなのテンションは上がる? または「勉強に行き詰ったら、トランポリン!」——。そんな教室を作ったら、みんなは喜ぶ? KOOZAでは何人かで布を持つ、移動トランポリンでしたので、これなら布の収納だけですから、メディセレスクールでも可能か!? 確認テストが平均点より悪かったメンバーと講師陣がトランポリンの布を持ち、成績上位者がご褒美に移動トランポリンができる!? ん~胴上げみたい(笑)。どんどん妄想が膨らみ、面白くなってきました。

そこで、メディセレの講師で観に行った前田に「前ちゃんはどの技が一番印象に残った?」と聞きましたら、「あの技なら私でもできるのではないかと思います」。え? やる気?? そして、ついには前ちゃん、思いつめた声で、「しゃっちょう、私、シルク・ドゥ・ソレイユに入団したいと思っています」「ま、まじで?」「ポールダンス、習おうかと思っています」。ポールダンス習って、エンターティナーな薬剤師を目指すわけね。「ま、前ちゃん、頑張り!!!」「はい!!!」「……」。

後日。「しゃっちょう、シルク・ドゥ・ソレイユに出演している人たちって、めっちゃ凄い人たちみたいです。なんか世界一とか取ってる人たちでした。……なので、入団をあきらめます」。あ、まじで調べたのね。じゃあ、前ちゃんのために、トランポリンはあきらめて、教室にポールを設置しようか……。でも、みんなどれほどそのポールを活用してくれるのかしら? テストが平均点以下の人はポールの刑?

11月13日は、「次世代の薬剤師を創る会in大阪」です。エンターティナーな薬剤師になるため……もとい、活躍する薬剤師になるために、吸入器の使い方と簡易懸濁法提唱者の倉田なおみ先生から講演があります。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子